

建学の精神

全人育成  
教育理念あたたかい心  
ひらめく英知  
たえぬく努力

第19号 平成23年3月22日発行

中国学園大学現代生活学部



人間栄養学科NEWS

問い合わせ先：  
中国学園大学 現代生活学部  
人間栄養学科  
Tel 086-293-0247  
Fax 086-293-2798  
E-mail. eiyou@cjc.ac.jp  
URL  
http://www.cjc.ac.jp/

## 卒業生・修了生の皆様へ

皆さんおめでとう。ご両親をはじめ友人や先生方に囲まれて過ごした居心地の良い、大学という“巣”から、波風の高い社会への“巣立ちの日”を迎えられました。「学ぶこと」の意義と重要性を身につけた皆さんですから、社会人として立派に活躍されることと確信しています。また、私たち教員は、次の3点を皆さんへ期待しています。大学で修めた「健康」についての知識と技術を生かして「健康長寿」の人生を送って下さい。また、共に過ごした友人との和をいつまでも大切にして下さい。そして、大学は皆さんの故郷であるべく維持・発展を続けますので、時には帰郷して楽しい話や活躍の様子を伝えて下さい。最後にもう一度、「おめでとう。頑張ってください。」

(学部長 多田 幹郎)

ご卒業おめでとうございます。いよいよ社会人としての一歩を踏み出されます。働き、稼ぎ、自身の生活を自身の手で紡いでいくわけで、本当の意味での一人前になり、今まで経験されたことのない事柄に遭遇されることも多々あると思います。皆様方のこれからの人生、予期しないことが起こるかもしれません。一つ一つの事柄に「勝つ」のではなく「負けない」で進んでいくと、職場でこの人でなくてはならない存在になり、最後には人生の勝利者になっていくことは間違いありません。家族の、学校の防波堤がなくなり、いろいろなことが皆様方に直接降り掛かってくると思います。困ったとき、つらいとき、苦しいとき、是非、母校を思い出して訪ねてきてください。先生方は皆様方のよき相談役として「負けない」ためのヒントを差し上げることができましょう。勿論、楽しいことやうれしかったことも報告をしてください。待っています。お元気で、幸多いことを祈っています。

(学科長 森 恵子)

ご卒業おめでとうございます。この中国学園大学で過ごした4年間はいかがでしたか。振り返ってみると長いようであっという間に過ぎて行ったのではないのでしょうか。ここでは多くのことを学びたくさんの友達や先生方との思い出ができたことでしょうか。本当の勉強は社会に出てからといえます。これから辛いことや苦しいこともあると思いますが持ち前の明るさやこの中国学園大学で培った粘り強さで、困難を突破して下さい。うれしい時悲しい時何かあったらいつでも母校を訪れて下さいね。今までのたくさんの思い出を大切に、また、これからの多くの出会いを期待して社会に羽ばたいて行って下さい。皆さんのご活躍を心よりお祈りしています。

(4年担任)

## 在学生の皆様へ

大学院2年生 佐柄 和子

梅の花が咲きほころび、ようやく春めいてきました。修士論文を書き終え、いよいよ修了の日が近づいております。中国学園大学での学生生活の日々が走馬燈のように思い出され、感動を与えてくださった先生や職員の方々、そして友への皆様に感謝しているところです。これまで通信教育で学んでいた私の第1の感動は、“大学の授業とはこんなにも分かり易いものか”と授業に吸い込まれたことでした。毎日の講義から与えられたプランクトンを食べ、水を得た魚のように生き生きと学び、遅めの青春を楽しむことができました。第2の感動は、先生方がいつも学生の近くにいてくださる中国学園大学の校風でした。お忙しい先生方がどのような質問にも優しく、丁寧に応えてくれたことに感謝しています。第3の感動はゼミで育てた菜園での収穫でした。作業を通して築いたチームワークは、机

上では得られない心の窓を開く機会となる貴重な体験でした。在校生の皆様、全てのことが当たり前のことと思わず、まずは管理栄養士を目指し、喜びながら学びましょう。

### 4年生 金城 なお(沖縄県立コザ高等学校 卒業)

私は入学と同時に寮生活だったので、やっていけるか不安でした。しかし、次第に慣れてきて、大学のみんなとも話せるようになったのは3年生になってからです。そこからは濃くて楽しい学生生活でした。臨地実習の不安を話して励まし合ったり、行事後の打ち上げで騒いだりと満喫できました。この大学に来てみんなに会えて良かったと心から思います。

国家試験は今までやってきた事の集大成だと思います。そのほかにも臨地実習、ゼミ、就職活動とやる事がたくさんありますが、大変な事もいつかは必ず終わるので、学生生活を楽しみながら立派な管理栄養士を目指してください。

## キャラクター

### 1年生 小川 弥子(岡山県立岡山工業高等学校 卒業)

中国学園大学・中国短期大学のマスコットキャラクターデザイン募集に私の考えた2つのキャラクターが採用されることになりました。応募のきっかけは私が高校のデザイン科を卒業したことを知っていた真鍋先生に勧められたことでした。キャラクターをデザインする上で大切なことやアイデアの提示の仕方は高校で学んでいたもので、あまり悩みもせずにすんなり描くことができました。1つよりは2つと、すこし違う描写で男の子と女の子のキャラクターを考えました。どちらか一方が採用されたらいいと思っていたのですが、2つとも採用していただけたのがとても嬉しく思います。まったく別の分野に進んだ私ですが、高校の時に学んだことがまさか大学で役に立つとは思ってもみませんでした。親しみを持たせ、わかりやすく伝える手段として絵はとてもいいものなので、これから先、栄養の分野にも生かしていけたらいいなと思っています。



ガクちゃん

イデーくん

## 入学前学習会

平成23年度入学予定者、保護者を対象に、入学前学習会が平成23年2月9日(水)、10日(木)に開催されました。この会は、大学生生活および大学教育への学習の導入として、化学と生物の学習機会を提供し、一層知識を深めてもらうためのものです。学習会では、化学、



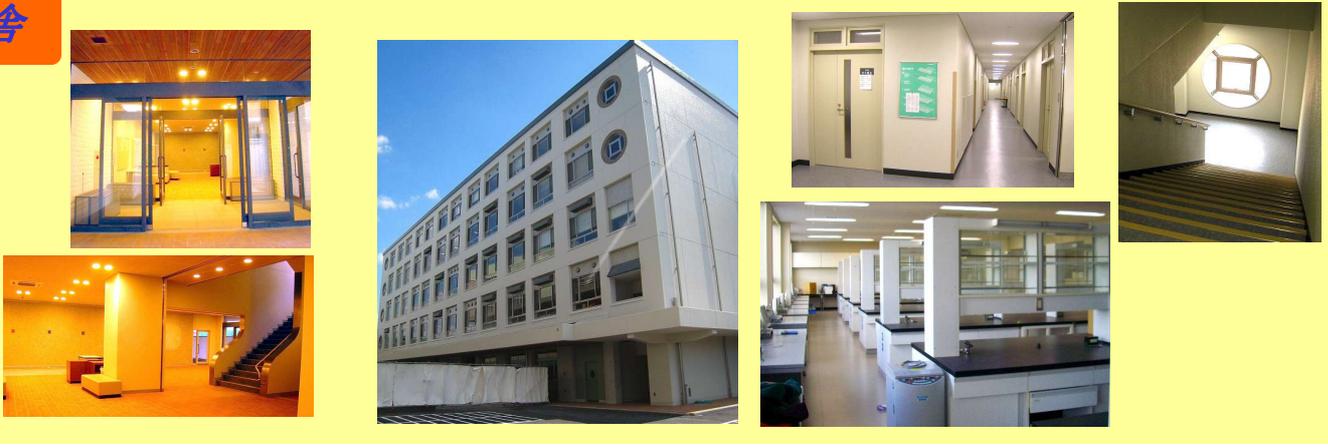
生物の講義の他に、入学後、インターネットを用いて自主学習が行える、eラーニングについての説明も行われました。入学予定者からは、「苦手な化学が、この会に参加して楽しいと思えるようになった。」「化学や生物は、栄養について勉強していく中で、とても重要なものだと思えた。」という意見もあり、この学習会を通し、化学や生物の知識をさらに深め、入学後の学習の大切さを改めて感じてもらえたのではないかと思います。

(影山 智絵)

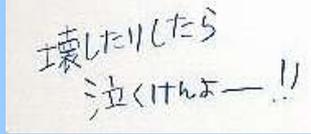
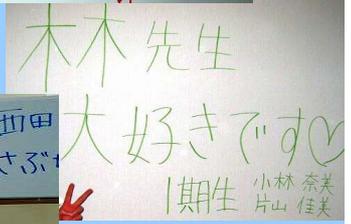
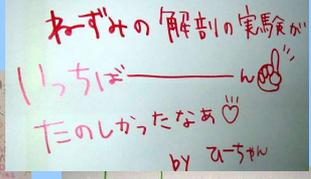
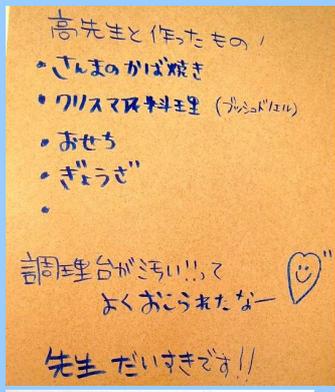
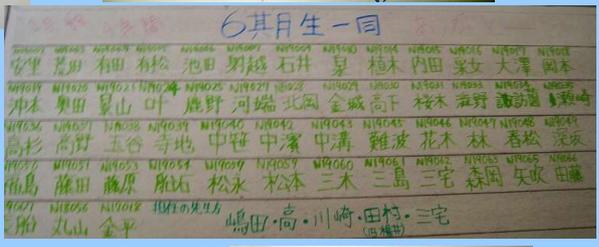
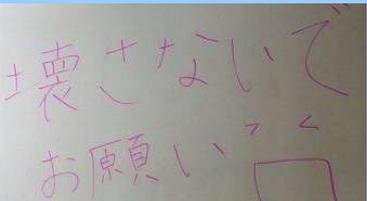
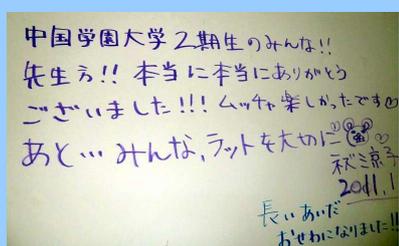
# 新校舎の一部落成

中国学園は、平成24年に50周年を迎えます。その記念事業の一環として、1号館、2号館、5号館、9号館の機能を1つに集約した新校舎（仮称13号館）の建設が始まり、1期工事（全2期）として約半分にあたる建物が平成22年12月末に完成しました。それに伴う引越し作業が年末から始まり、正月休みを挟んで新年早々から、人間栄養学科の教員が総出で取り掛かりました。そして、引越しが完了した2月末から、いよいよ1号館の取り壊しが本格的に始まりました。「1号館」という、中国学園の歴史そのものの建物の最期ということで、在学生および卒業生の一部に声を掛け、思いのたけを壁やドアに書いてもらいました。

## 新校舎



## 旧校舎の引越し作業



## 旧校舎の思い出

### 1期生 片山 佳美

先日、『1号館を壊す前に校舎に寄せ書きをする』と言う連絡を受け、再訪してきました。校舎に入ると、真っ暗で物がなく、静かで…だけど、実験室の独特の匂いだけはまだ残っていました。1号館は、私たち1期生が4年間の大部分を過ごした場所で、講義や実験、卒業研究と色々な事が思い出されます。ここが無くなってしまふのはとても寂しいけど、新しく生まれ変わるのも嬉しく思います。たくさんの思い出をありがとうございました。

### 4期生 松永 涼子

大学生活の殆どを過ごした旧校舎には、思い出が数え切れない位詰まっています。なかでも、ゼミ室で国家試験の勉強や、卒業研究を頑張った事を思い出します。毎日、ゼミの仲間と励まし合い、時には遊び、笑い合い、色々な出来事が有りました。思い出の校舎が無くなるのは寂しいですが、新校舎の完成も楽しみです。最後に、在校生の皆さん、新校舎で充実した大学生活を送り、沢山の思い出を作ってください。

## 新校舎への期待

### 2年生 小屋本 真衣(鳥取県立鳥取湖陵高等学校 卒業)

私は、新校舎で学ぶことをとても楽しみにしています。なぜかと言うと、新しく綺麗な教室で学べる上に、気持ちを新たに勉強に望むことができるからです。また、新しい実験実習室で行う実験や実習を、有意義かつ効率的に行うことができるという期待感を持っています。更に、ゼミ室を有効に使用し、日々の勉強に役立てたいです。私の将来の夢である管理栄養士になるためにも、今まで以上に努力して行こうと思います。

### 1年生 塩地 晴菜(広島県立戸手高等学校 卒業)

新しい校舎でよりいっそう勉学に励み、また広い実験室や実習室を有意義に利用できると思うと実際に使用するときが楽しみです。

## 臨地実習

### 3年生 湯浅美代子、波之平麻衣(明誠学院高等学校 卒業)

岡山医療センターでの、臨地実習は、初めて病院で働きたいと思える楽しい経験をさせて頂きました。その中で、糖尿病の集団栄養食事指導を行いました。リハールでは、集団指導でのポイントを教えて頂き、管理栄養士の先生から『一つでも覚えて帰って頂けたら良い』というお言葉があったため本番は、自信を持ってお話することが出来ました。管理栄養士の先生は、熱心でデスクワークよりも管理栄養士の業務を体験して欲しいと言って頂いたので自ら考えた事を進んで体験することが出来ました。この実習を通して、目標とする管理栄養士の先生に出会うことが出来、今一層勉学に励む意欲が湧きました。

## 工場見学・テーブルマナー研修

### 1年生 吉田 尚美(岡山県立岡山工業高等学校 卒業)

テーブルマナー研修で一番心に残ったことは、「他の人にも不愉快な思いをさせないためにテーブルマナーがある」という説明です。「マナー=形式的なきまり」のように思っていたのですが、服装や会話もマナーのうちであることがこのことから納得でき、良い勉強になりました。少しの失敗があっても他人に配慮する気持ちを忘れなければ良いことに気付きました。緊張してお料理の味も良く分からないまま終わったフルコースでしたが、マナーについて知っていることでこれから役立つ場面が多くあるだろうと思います。あらたまった席に呼ばれたときなども自信と余裕をもって参加できそうです。フードスペシャリスト受験時にも役に立ちそうです。食事に対して敬意がはられるということは食に携わる者にとって嬉しいことです。自分だけ楽



しむのではなく、周りの人も気持ちよく楽しめるよう、日々の中でも食事マナーを大切にしたいと思いました。

## 大学公開講座の開催

去る2010年10月16、17日に、中国学園大学 公開講座が行われました。人間栄養学科では、3年生を中心に「ワンダーランド in NIWASE ～食と健康の世界へ迷い込もう～」と題し、栄養セミナーⅢで学習した食と健康の知識を地域の方々に披露する催しを行いました。毎年恒例になっている血管年齢や骨密度測定をはじめ、こんにゃくを使った料理やお菓子、体調に応じた手作りジュース、岡山県産農作物、お菓子の歴史、健康と腸内細菌についての紹介や、健康食情報の正しい知識を遊びながら学べるすごろくなど、学生の創意工夫にあふれた企画展示に訪れた来場者は2日間で約500人を記録しました。事前の準備は大変でしたが、大変な盛況ぶりに、それ以上の達成感を得ることができました。(木野山 真紀)

## 吉備・陵南まちかど博物館

### 2年生 佐藤 竜一(学生生活向上委員会 会長)

2010年7月に僕が学生生活向上委員会会長としての初めての仕事が「まちかど博物館」でのボランティアの取りまとめでした。「まちかど博物館」担当の代表者としてではなく、あくまでサポートという形での参加でした。役員の中からの担当適任者の選出と各クラスから選出された向上委員会のメンバーを中心に出店や街中清掃のボランティアを集め、大学正門前ののぼりや灯籠の設置、当日は全体の見回りや補助などをしていました。県外から岡んにきて初めて、地元庭瀬のお祭りに参加させていただきとても楽しかったです。大学生活だけでは味わえない地域の皆さんとのふれあいや、学校を代表しての地域貢献などはとてもよい経験になりました。

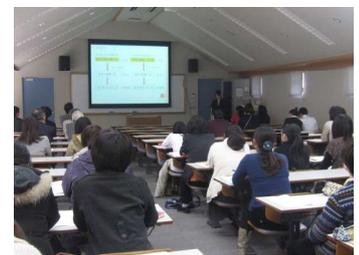
## 卒業研究発表会

平成22年12月22日(水)に人間栄養学科の卒業研究発表会が開催され、4年生の学生が、それぞれの研究室ごとの研究テーマに対し、1年間を通して、調査・研究した成果を発表しました。この会には、本学科3年生、大学院生、教職員など多くの方が参加しました。研究プログラムは全部で20題あり、さまざまなテーマについて研究されており、学生は聴衆の皆さんに、丁寧に一生懸命伝えていました。今回の発表会で、4年生の学生は、ゼミの仲間と1年間協力し合い、研究した成果を聴衆のみなさんに知ってもらうことで、充実感を味わうことができたのではないかと思います。(影山 智絵)



## 修士論文発表会

平成23年2月7日に現代生活学研究科人間栄養学専攻の修士論文発表会が行われ4名の大学院生が2年間にわたる研究の成果を発表しました。今年度は「企業で働く栄養士・管理栄養士の実態と期待される能力に関する研究」「絵本を使った食育の取り組みとその効果～学童保育での実践から～」「糖尿病患者の脂質栄養について」「既存添加物調整原材料への放射線照射：殺菌効果、検知及び抽出効率」の4題についての発表がありました。会場からは鋭い質問が飛び、活発に意見交換がなされていました。大学院1年生やこれから大学院での研究を始める学生にも良い刺激となったのではないかと思います。大学院で培った専門性を生かし広く社会に羽ばたいて欲しいと思います。(三宅 教子)



## 吉備・陵南ふれあい健康フェアに参加して

### 3年生 平田 知之(岡山県立興陽高等学校 卒業)

僕は食育サットを使い、参加された方に栄養バランスの評価を説明する係りとして参加しました。そこで、30～70代くらいの日頃の食事を見ることができ、世代が離れた方の食事内容を知ることができました。それは、大学内のロールプレイでは知ることができないことなので、とてもよい経験となりました。なかでも、偏った食事をされている方が多かったことが印象に残っています。この健康フェアに参加して、栄養バランスや食事の組み合わせをあまり意識されていない方が多いということに気がことができました。また、世代に差がある方が日頃食べている食事を知るといことは、管理栄養士として働くために必要となる大切な知識を得ることができました。



## 岡山県南部健康づくりセンターでのヘルスチェック受診

### 3年生 松本 千加(岡山県立総社高等学校 卒業)

公衆栄養学実習Ⅰの一環として岡山県南部健康づくりセンターでヘルスチェックを受けました。食事調査では職員の方の質問内容が具体的で分かりやすく、私たちが授業で行ったときよりもとても早く的確で、現場で働くには多くの訓練が必要だと感じました。エルゴメーターを使った体力測定ではすぐ息が上がり、また握力や長座体前屈なども高校の時よりも結果が悪くなっており、運動習慣の必要性を強く感じました。測定した結果は「食生活」「体力」「ストレス」の項目別に管理栄養士、運動指導士、保健師の先生方から説明を受けました。今回の実習では病院や福祉施設以外での管理栄養士の仕事内容を知ることが出来ました。また、大学の授業で学んだ食事調査法や体力測定法を思い出しながら行うことができました。職員の方々は皆笑顔で接してくださり、調査を受ける私たちはとてもリラックスして受けられました。将来、管理栄養士になり調査を行うときには常に笑顔を心がけようと思いました。



## 防災訓練

平成23年2月28日、午前10時から、岡山市消防本部と岡山西消防署の支援をうけて、本学の構内で防災訓練が行われました。地震で怪我人が出たと想定、搬送の訓練をし、12号館6階から発火したとして消火訓練が行われました。時ならぬ消防車とはしご車の



出動で、近所の方々も不安な面持ちで見学されていましたが、東北地方太平洋沖地震でも明らかのように、日頃からの備えが必要です。被害者の皆様方に心からお見舞いを申し上げ、御逝去の皆様のご冥福を祈りいたします。  
**(林 英生)**

## ボランティア活動記録

	実施場所	参加学生	人数
学校給食支援	岡山市立陵南小学校 岡山市立吉備小学校	3年生全員 4年生有志	76
高齢者施設昼食支援	グループホームきびの里 高松アクティブホーム		18
食育推進活動	岡山市立陵南小学校	4年生(横尾ゼミ生)	5
吉備・陵南まちかど博物館	吉備・陵南まちかど博物館実行委員会主催	3年生有志	7
吉備・陵南ふれあいフェア	吉備公民館	3年生、大学院 1・2年生有志	15

## 中国学園大学公開セミナー記録

**第62回 安治 敏樹 准教授** (H22.4.21、16:30～、M301 教室)  
**岡山大学歯薬学総合研究科免疫学教室**  
「読むワクチン-健康を守るために-」

**第63回 横尾 幸子 講師\*** (H22.5.26、16:30～、1301 教室)  
「ジャガイモの硬化に及ぼす蒸留水、水道水への浸漬温度、浸漬時間の影響」  
**北島 葉子 助教\***  
「放射線照射した食品・食材の光励起ルミネッセンス(PSL)測定法による照射履歴の検知と放射線殺菌効果に関する研究」

**第64回 渡辺 明治 氏** (H22.6.23、16:30～、1301 教室)  
**光生病院 内科**  
「管理栄養士養成教育の現状と専門性を高める教育への課題」

**第65回 河見 浩司郎 氏** (H22.9.23、13:00～、M301 教室)  
**(株)ヤクルト本社**  
「カラダの健康と腸内細菌」

**第66回 橋本 昭栄 氏** (H22.10.27、16:30～、M301 教室)  
**特定非営利活動法人 国際生命科学研機構**  
**バイオテクノロジー研発部 会長**  
「遺伝子組換え農作物に関するコミュニケーション」

**第67回 岡部 昭延 氏** (H22.11.24、16:30～、1301 教室)  
**香川大学医学部分子微生物学 教授**  
「ウェルシュ菌の分子遺伝学-その基礎的および応用的研究-」

**第68回 修士論文発表会** (H23.2.7、13:10～、L309 教室)  
**大宮めぐみ**  
「企業で働く栄養士・管理栄養士の実態と期待される能力に関する研究」

**川崎 真弥**  
「絵本を使った食育の取り組みとその効果  
～学童保育での実践から～」

**佐柄 和子**  
「糖尿病患者の脂質栄養について」

**高尾奈津子**  
「既存添加物調製原材料への放射線照射：殺菌効果、検知及び抽出効率」

**第69回 高 早苗 教授\*** (H23.3.13、15:00～、L309 教室)  
「メタボリックシンドロームから心筋梗塞へ  
～その進行防止に向けた食事管理の取り組み～」

**林 英生 教授\***  
「生体膜の構造・機能および生合成～ミトコンドリア、赤血球、ぶどう球菌の「膜」を対象とした研究～」

\*：中国学園大学現代生活学部人間栄養学科の教員です。